

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.232
Apr, Mar, Jun, 2006

JID news

JID月報：通巻232号
平成18年4月・5月・6月号
発行日：平成18年6月30日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：理事長メッセージ
創立50周年に向けて

平成18年度 第37回通常総会報告	2
事業推進報告・新役員紹介とメッセージ	3
平成17年度 第4回理事会報告	4
平成18年度 第1回理事会報告	6
本部報告(4支部統括)(情報委員会)	9
// (国際委員会)(総務委員会)	10
MEMBER'S SALON	12
事業支部報告(関東事業支部)(九州事業支部)	14
// (中部事業支部)	16
// (関西事業支部)	18
JID創立50周年ロゴマークについて	19

新会員紹介 19

理事長メッセージ

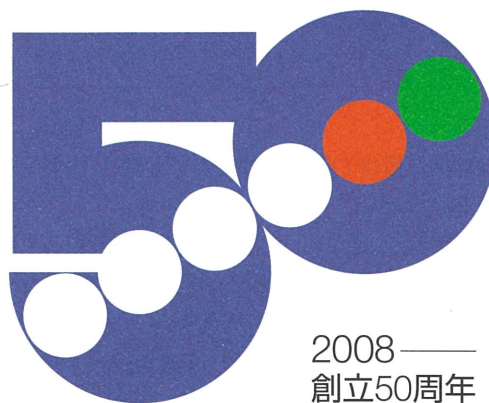
創立50周年に向けて

理事長 川上 玲子

創立50周年ロゴマーク



社団法人日本インテリアデザイナー協会



第38回総会も無事に終わり、いよいよ2008年の創立50周年に向けて始動全開の18年度に入りました。

これまで準備段階として歴代理事長、役員数人とオープンな意見交換の場を持ってきましたが、これからは企画委員会を構成、具体的な立案を立ち上げる時を迎えました。半世紀に一度の50周年の時期に会員であることの意義を胸に刻んで全員参加型の特別記念事業の計画、実行にして行きたいと考えています。

50年前に日本のデザイン界をリードされていた諸先輩によって創立されたJIDの原点に戻り、更に今後の50年を見つめた新たな原点の確立を目指して会員が一体となって頑張っていく「2008年」ではないでしょうか。

この秋にはOZONEに於いてプレイベントとしての「大・テーブル／卓」展が開催されます。

又、APSDAアジア諸国のメンバーとの交流やヨーロッパ、特にデンマークデザイン協会とは5月にコペンハーゲンで会員の島崎信氏のアレンジでJID50周年に関して会合を持つチャンスも有り、積極的に意見交換をする事が出来ました。

今は国の枠を越えて日本のデザイン発信のためには海外との協力体制も視野に入れて、半世紀を迎えるJIDが新たなスターティングポイントに立つための準備をして行きたいと思いますので皆様の絶大なご協力をお願い致します。

第38回通常総会 議事録

日時：平成18年5月26日(金) 15:30～16:30

場所：新宿パークタワー 8F OZONE セミナールームB

議事

第1号議案 平成17年度事業報告(案)・

平成17年度収支決算報告(案)承認の件

第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

第3号議案 平成18年度事業計画(案)・

平成18年度収支予算(案)承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

議事経過

定刻15時00分、峰尾事務局長の開会の辞で開会した。直ちに「本日の正会員数379名、本日の出席者数26名、定款第25条による委任状提出者数201名、合計227名である。定款第23条による定足数は189.5名よって本会は成立した」旨、成立宣言がなされた。

議事に先立ち、峰尾事務局長より定款第22条により、本総会の議長は、理事長がこれにあたる旨説明した。続いて川上玲子理事長が議長となり挨拶の後、議事に入った。

議事

◆第1号議案

平成17年度事業報告(案)・平成17年度収支決算報告(案)承認の件

議長が総括説明に入り、平成17年度は会員相互の努力と組織のスリム化と共に落ちついたJID活動をスタートし、その成果が少しずつあらわれてきた、又、国内、国外共にJIDの存在価値が重要視され始めた17年度であった。

特にビエンナーレとして新たなJID賞の実施、賛助会員との積極的な連携活動の企画や、国際的にも会議やイベントに参加するのみで無く、JIDとしての役割を積極的にこなした年度であったと報告。

次に各々の事業報告及び収支決算の内容について事務局長より報告が行われた。引き続き監事を代表して中川千年監事より去る4月24日東京において会計監査を行った結果が報告された。

その後質疑に入ったが質問なく、議長は総会に承認を諮り、全員賛成でこれを承認した。

ここで議長を引き続き川上玲子次期理事長予定者に移し議事に入った。

◆第2号議案

任期満了に伴う役員改選の件

議長より、総会に先立ち行なわれた平成18年度第1回理事会において承認された役員について議案書に基づき説明を行った後、議長は総会に承認を諮り、全員異議なくこれを承認した。

◆第3号議案

平成18年度事業計画(案)・平成18年度収支予算(案)承認の件

議長が総括説明を行い、目前に控えた創立50周年記念事業を中心にJIDの全会員参加型で活動計画を立案、実行に向けて私たち全員の意識を集中させる年度であり、この50周年を機にJIDの諸先輩が築いた日本の家具、インテリアデザインを改めて認識し今後は国内のみならず世界にJIDのタイムレスデザインとして日本の素晴らしさをアピール出来る貴重な年度にしたいと提案。次に各々の事業計画(案)及び収支予算(案)について事務局長より説明が行われた。

その後質疑に入ったが質問なく、議長は総会に承認を諮り、全員賛成でこれを承認した。

◆第4号議案

議事録署名人選任の件

議長から腹案として、長堀映司、萩原多恵子両会員(いずれも関東事業支部所属)が提示されたが長堀映司会員欠席のため、代わりに佐藤健一会員を提案。

以上につき、議長は総会に承認を諮り、全員異議なくこれを承認した。

閉会

議長が挨拶に立ち、本日の議事案件に対するご協力に感謝する旨の謝辞が述べられ16時30分、第38回通常総会は滞りなく終了した。

以上、社団法人日本インテリアデザイナー協会第38回通常総会の議事経過の要領及び結果を記録し、その相違ないことを証明する。

平成18年5月26日

社団法人日本インテリアデザイナー協会

議長 川上玲子

議事録署名人 佐藤健一、萩原多恵子

事業推進

新年度の組織『事業推進』がスタートするに当たって

副理事長 小宮 容一

引き続き平成 18～19 年度『事業推進』を担当することになりました。力の限り勤めたいと考えております。私の他は、新メンバーで、岩倉榮利副理事長、吉良ヒロノブ理事、山本棟子理事が担当です。前の期に 3 人体制で始めた『事業推進担当』でありましたが、今期は 4 人体制で、名称も「担当」をはずし『事業推進』としました。4 人に増員したのは、2008 年の 50 周年記念事業に向けて、大いに事業を推進させようとの意味、又、「創立 50 周年記念事業特別委員会」を大いにサポートするという意味を含んでいます。前の期に確立した、事業推進システム等は引き続き粛々と遂行することはもとより、'06～'07 年度に本部事業、特に支部事業において、50 周年のプレ事業が企画され実行されるよう、助力、支援して行きたいと考えています。

事業の活発化は、内外に対し、JID の存在意味と、存在そのものをアピールするものです。来る所 JID の隆盛にも繋がるものです。会員各位にありましても、知恵と行動を大いに発揮していただける様お願いいたします。

新任メッセージ

国際委員会担当 理事 酒井 正人

JID 会員の皆様、日頃会務ではお世話になっております。今年度より国際委員会担当の理事に就任致しました。どうぞよろしくお願い致します。

私は JID 会員としては、50 周年を迎える歴史の中で、まだまだ新人の部類に入るのはないかと思いますが、これまで携わりましたイベントやセミナー等の開催を担当した役割をととして、また、昨年度は JID 代表メンバーとして APSDA、IFI の国際会議を経験することができ、あらためて JID の活動の幅広さや、国際的にも期待されている組織であることを再認識することができました。50 周年に向けて、そして、50 周年を期に、さらにポジティブな JID に進化していくよう、微力ですがその役割を果たしていく所存でございます。JID の国際活動については、JID が加盟しています APSDA (アジア太平洋空間デザイナー団体連合)、IFI (国際インテリアアーキテクト&デザイナー団体連合) での活動状況やスケジュール等を、会員の皆様がタイムリーに情報共有できる

ような体制をつくることや、また、できるだけ多くの会員が参加できるイベント等も企画してまいりますので、その際はぜひご参加いただきたいと思います。

これからも皆様から今まで以上のご指導とご協力をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

4 支部統括担当 理事 村口 峯子

第 38 回総会にて理事として新任いたしました。今回の信任をいただき、インテリアデザインの役割について考えるこの頃です。数十年前に協会に入会した当時と比べるとインテリアという言葉の認知度は数段高くなっています。しかし、社会ではその仕事内容に関してはどのくらい理解をされているもののでしょうか。これから 2 年後に 50 周年を迎える歴史ある協会にて、インテリアデザイナーの力を広めるべく会員の皆様とともに考え、そして努力をさせていただき気持ちです。どうぞよろしくお願い致します。

事業推進担当 理事 山本 棟子

これまでの長年に渡る JID 活動／交流・国際・教育研究・出版・事業等に関わった経験から、50 周年を前に、新鮮な方に交代した方がベターと考え、お断りしたく思いましたが、川上理事長の強いご要請もあり、理事をお引受けすることにいたしました。現在、JID 50 周年のプレイベントである「大・テーブル／卓」展 11 月開催 (OZONE 全館) の実行委員会副委員長として奮闘中で、50 周年記念事業にまで考えが及びませんが、JID の発展は、常日頃からの会員の活躍と協力なくしてはできないことをお伝えし、ご挨拶に代えさせていただきます。

平成 18・19 年度 本部役員

先日行なわれました第 38 回通常総会において下記の役員が承認されました。

すでに総会資料にてご承知のことと存じますが、あらためてご紹介いたします。これからの 2 年間よろしくお願い致します。

理事長 川上 玲子

- ◆理事長 川上 玲子
- ◆副理事長 岩倉 榮利、小宮 容一
- ◆理事 安藤 清、吉良 ヒロノブ、酒井 正人
清家 淳一、丸谷 芳正、村口 峯子
山永 耕平、山本 棟子
- ◆監事 宇賀 敏夫、川上 信二

平成17年度 第4回理事会

日時：平成18年3月24日(金) 13:30～16:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子
副理事長 小宮容一、阪井良種
理事 秋山修治、安藤清、岩倉榮利
吉良ヒロノブ、坂本和正、清家淳一
丸谷芳正、山永耕平
監事 川上信二(欠席)、中川千年(欠席)

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成17年度収支状況報告(2月末)

[3] その他

・財務運営資金繰り

・次回理事会予定

平成18年度第1回理事会

平成18年5月26日(金) 13:30～15:00

平成18年度第38回通常総会

平成18年5月26日(金) 15:30～17:00

年間会員移動状況

ジャパンデザインミュージアム設立構想

II 議題

第1号議案 平成18・19年度組織・役割について

第2号議案 平成18年度収支予算(案)確定の件

第3号議案 後援・協賛名義承認の件

第4号議案 会員入退会承認の件

第5号議案 議事録署名人選任の件

(清家理事、丸谷理事)

III その他の決定事項

1. 2006 会員ワーク集について

2. 創立50周年記念事業ロゴマーク選定について

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(阪井)

1. 事業委員会

1月18日 市町村支援事業、結城市にて第3セクターと意見交換。

3月12日 結城市の事業について、JIDメンバーによる「結城の町スケッチ展」、「布を使った照明器具の

屋外作品展」、「ベンチの屋外作品展」など検討。

3月13日 セミナープロジェクト懇親会及びOZONEとの次年度開催確認。

2. 研究委員会

3月15日 テーブル展の展示、出版、予算などの具体的詰めを行う。

3月24日 SIセミナー「これからの住いとインテリアデザイナーの役割」を講師、小幡晴治氏で実施。

3. 総務・組織委員会

3月13日 会議費今年度分の支払い決定。

4. 交流委員会

3月8日 手作り体験プロジェクト次年度事業検討、案は、鉄の鑄造、型ガラスその他。

5. 第5回委員長会議

次年度の会議費支払いについて討議。

6. 2月25日 50周年記念事業JID 関東フォーラムを19名参加で実施、今後行う。

◆中部事業支部(安藤)

1月9日 CCDO平成18年度新春デザイン交流会をメルパルク名古屋で実施。

1月19日 第4回インテリア連絡会実施。(CIP/インテリア学会・イン産協・JID中部・AIA)

1月21日 新年会+JID-ACTchubu 交流会開催。

瀬戸蔵ミュージアム・新世紀工芸館見学18名参加。

2月9日 2月度役員会・連絡会開催。

1月～3月JID中部学生賞6校授与。

3月1日～6日CCDOデザインアワード展。

3月18日 3月度役員会・連絡会開催。

3月23日 第5回中部インテリア連絡会開催。

今後4月15日 4月度役員会・連絡会予定及び5月27日JID中部通常総会を石川県にて開催予定。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務部会

平成17年度第6回運営部会において来期新組織(案)承認。

来期活動新組織メンバーの募集及び組織づくり推進。

3月15日 創立50周年記念事業の「関西案検討及びまとめ会議」開催。

2. 組織部会

来期組織委員会活動検討中。「企業による新商品・重点商品説明会」は引き続き開催予定。

3. 情報部会

来期特別部会を発足させ、HP作成等検討予定。

18年3月下旬、「機関紙ECHO 28号」発行予定。

「関西通信」随時メール配信。

4. 研究・発表部会

2月25日(土)見学会開催。住友コレクション美術館「泉屋博古館」と庭園「有芳園」を見学。

5. JID-ACT kansai

定例会議開催予定。

6. USD-O (大阪デザイン団体連合機構)

3月12日理事会開催、HPの刷新方向決定。

その他、大阪産業デザインセンター主催「大阪府中小企業デザイン活用促進事業」「D-パイロット事業」4団体参加。参加団体(協)関西デザインユニオン、(社)日本インダストリアルデザイナー協会関西ブロック、(社)日本パッケージデザイン協会西日本。

◆九州事業支部(山永)

1月21日(土)～22日(日)「座る形―展」後援(アダル6 Fセミナー室、展示場)14名の学生作品展示。

1月21日(土)JID九州福岡例会の開催と、ボーエ・モーエンセン回顧展見学。同時開催第1回JID・KYUS YUファニチャーデザインコンペ2006の審査実施会員7名参加。受賞者、最優秀賞1名、優秀賞2名、奨励賞3名、努力賞7点8名を決定。その後新年会、懇親会実施。

3月18日役員会開催。

◆本部総務委員会

12月6日Jプロジェクト改め「JIDビジネスパートナーズ」第3回実行委員会開催。

12月6日委員会開催、11社参加で具体的なフォーマットと実施マニュアル検討。参加申込書等の調整を3月15日事務局着で依頼。正式発足は第4回理事会承認後実施予定。

JID-IDカードの更新作業実施。

2006年ニューイヤーズパーティ実施有料参加者70名、来賓19名、合計89名で近年最高の参加者があった。

◆本部交流委員会(坂本)

3月18日APSDA緊急会議のための打合せ会実施。APSDA緊急会議が2月21日～23日の3日間上海で開催され、川上理事長、酒井委員が出席、次期開催予定のオーストラリア辞退で、マレーシアが立候補承認された。よって2006年11月APSDA会議はマレーシア・クアラルンプールでの開催が決定。

2007年IFI総会は韓国釜山で開催予定。その他3月16日交流委員会開催、JID創立50周年に関しIFI・APSDAメンバーにも提供できる国際的なプログラムを企画。そのため次期国際委員会増強のため委員を増員。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

JID賞受賞作品掲載と日本語・英文ページのリニューアル。現状のトップページのデザイン及びリンク構成の再検討を実施。

今後の予定として、関東情報委員会との合同ミーティング継続、次年度ホームページの改定検討及び各支部との連携作業を行う。

◆本部情報委員会 JIDNews(清家)

JIDニュース231号3月末発行。

会員ワーク集3月15日現在、会員申込39名、広告2社であった。その後の進行その他の結論は討議の後決定する。決定については、その他の決定事項に記す。

◆事業推進担当(小宮・丸谷・安藤)

1. 本部・支部18年度事業計画に基づき平成18年度年間事業計画一覧表を作成。
2. 創立50周年記念事業準備委員会出席。
3. その他事業推進総会資料の準備。
4. 新年度には新たな担当で対応。

◆選考委員会(岩倉)

インテリアライフスタイル展(6月14日～16日東京ビッグサイト 主催メサゴ・メッセフランクフルト)において、JIDデザインアワードを提供、審査員に川上理事長、岩倉副理事長が委嘱される。

[2] 平成17年度年度収支状況報告(18年2月末) 事務局長より2月末収支状況報告について説明。

[3] その他

1. 財務運営資金繰りについて事務局長より説明。
2. 次回理事会平成18年度第1回理事会
平成18年5月26日(金) 13:30～15:00
3. 年間会員移動状況について事務局長より説明。
4. ジャパンデザインミュージアム構想について経済産業省及び日本デザイン団体協議会の打ち合わせ経過について吉良理事より説明。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

II 議題

◆第1号議案

平成18・19年度組織・役割について

平成18・19年度組織図について確認。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案

平成18年度収支予算(案)確定の件。

事務局長より予算案について説明、その後討議。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案

後援・協賛名義承認の件(4件)

- 2006年DDAシンポジウム「越境するデザイン」

平成18年4月21日(金)16:30～19:30

主催：社団法人日本ディスプレイデザイン協会

協賛・新規

- 第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006 in 京都
公開シンポジウム／開会式 2006年10月22日

本会議(分科会・全体会議・展示会ほか)

2006年10月22日～26日

主催：国際ユニヴァーサルデザイン協議会

後援・継続

- 第12回建築リフォーム&リニューアル展

平成18年6月14日～6月16日

主催：建築リフォーム&リニューアル展組織委員会

後援・継続

- 第62回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2006

2006年9月5日(火)～8日(金)

主催：株式会社ビジネスガイド社

協賛・継続

議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◆第4号議案

会員入退会承認の件(18件)

- 正会員 退会(18件)

0132 荒川清(関東) 0775 新井宏侑(関東)

0831 岡本芳郎(関東) 0694 荻野宣子(関東)

1242 佐倉康之(関東) 0795 鈴木和子(関東)

1137 関口洋司(関東) 0936 中島明人(関東)

1150 中谷容子(関東) 0761 馬場敏(関東)

1238 棟方潤乃(関東) 0750 吉田ジュンコ(関東)

0525 松波一夫(中部) 0418 上田幸正(関西)

0388 中村隆一(関西) 1021 疋田友一(関西)

0268 中川千年(九州) 0476 岡部史子(関東)

◆第5号議案

- 名誉会員推薦の件(2件)

0268 中川千年 1970年9月8日入会 在籍35年

0388 中村隆一 1975年9月19日入会 在籍30年

議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

- 報告事項(訃報)

川端二郎(関東事業支部名誉会員)

平成17年6月28日逝去 享年84歳

◆第6号議案

議事録署名人選任の件

議長は清家淳一、丸谷芳正両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

その他の決定承認事項

1. 2006 会員ワーク集について討議の後、制作を中止

し延期とした。尚、現在まで発生した費用、編集及び掲載料返金については17年度予算にて返還する。

作品返却については18年度予算を充当する。

2. 創立50周年記念事業に関する会員募集ロゴマークについては選考委員会にて審査する。

議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成17年度第4回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 清家淳一、丸谷芳正

理事会

平成18年度 第1回理事会

日時：平成18年5月26日(金) 13:30～15:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 岩倉榮利、小宮容一

理事 安藤清、酒井正人、清家淳一
丸谷芳正、村口峯子、山永耕平
山本棟子

委任出席 吉良ヒロノブ

監事 宇賀敏夫、川上信二

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] その他

・財務運営資金繰り

・次回理事会予定

平成18年8月4日(金)15:00～18:00

II 議題

第1号議案 平成18・19年度役員役職承認の件

第2号議案 後援・協賛名義承認の件

第3号議案 会員入退会承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(文書にて)

1. 事業委員会

5月18日セミナープロジェクト「キラリと光るリフォームセミナー」前年度に続きOZONEと共催、7月から計6回、6人の講師決定、会場設営その他、担当割り振り。
5月8日 市町村支援事業、結城市市街地活性化セミナー、内容について討議。

5月11日 市町村支援事業、結城市においてTMO総会にオブザーバー参加、市街地活性化セミナー及び懇親会出席、電柱地中化イメージパースの作成依頼あり。

2. 研究委員会

4月26日 18年度第1回研究プロジェクト合同会議、「大・テーブル／卓」展のデーター収集について討議。
5月10日 18年度第2回研究プロジェクト合同会議、「大・テーブル／卓」展小委員会の成果を発表。

3. 総務・組織委員会

4月27日 委員会運営に関するガイドラインの最終検討実施。

5月20日 JID-ACT kanto 17年度収支決算報告、支部総務委員会からの補助金支出は9万円となった。
5月24日 JID パートナース関東プロジェクト 18年度第1回トレンドセミナー実施、講師賛助会員(株)トミタ富田亙正氏。(銀座トミタショールーム)

4. 交流委員会

4月20日 手作りの体験プロジェクト、ガラス鋳物制作について討議。(安河内会員アトリエ)

5. 情報委員会

5月19日 関東ホームページリニューアル完成及び支部会員に配信。

5月22日 関東ホームページ利用法等について討議。
関東HP <http://homepage-market.net/test/jid/>

◆中部事業支部(安藤)

1. 3月20日 3月度役員会・連絡会実施、新役員、委員会組織案討議。

2. 3月23日 第5回中部インテリア連絡会実施ー CIP・インテリア学会・イン産協・JID 中部・AIAー(合同アワード・互礼会・インテリアマップ)

10月にデザインセンターで合同インテリアアワード展を行なう予定、その中でJIDはJID賞を出展予定。

3. 3月26日 博物館明治村、春の特別イベント参加、明治村聖ザビエル天主堂「歴史的建造物の活用」東大院鈴木教授「同海外報告」西尾建築部長。

4. 4月例会は中止

5. 5月8日 5月度役員会・連絡会実施、議題は総会準備、各委員会活動報告と計画はACT・HP。

6. 今後の予定

6月3日 JID 中部通常総会 in 金沢。6月8日 第6回インテリア連絡会。6月24日 CCDO 通常総会。

7月15日 7月度役員会・連絡会を予定。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務委員会

4月27日(木) 第1回運営委員会開催。

6月3日(土) 支部総会開催予定。

6月22日(木) 第2回運営委員会開催予定。

2. 組織委員会

「企業による重点商品及び新商品説明会」準備中。

3. 情報委員会

5月17日(水) 第1回特別委員会開催。

機関紙「ECHO」、ホームページ作成、情報デジタル化検討、関西ホームページの立ち上げ準備。

6月16日(金) 第2回特別委員会開催予定。

4. JID-ACT kansai

5月9日(火) 総会開催。

5. USD-O (大阪デザイン団体連合機構)

「大阪」活性化へのデザイン活動推進中、ホームページの見直しをJID担当。

◆九州事業支部(山永)

1. 3月18日(土) 役員会開催。

平成18年～19年度新規役員選出決定、平成18年度事業計画・予算案検討と50周年記念事業九州支部企画案の検討、平成18年度総会準備、第1回JID-KYUSYU ファニチャーデザインコンペ2006報告、第2回JID-KYUSYU ファニチャーデザインコンペ2007実施計画案検討(選出、表彰方法)実施。その他、懇親会実施。

2. 4月22日(土) 役員会開催

アクティブデザイン(佐藤栄次会員事務所)で実施、理事会報告、50周年記念事業九州事業支部企画案検討、平成18年度総会計画案検討、ミラノ・セミナーの計画案検討(ミラノ・サローネ：ミラノ国際家具見本市最新動向報告)講師エーディコア・ディバイズ取締役瀬戸昇氏(JID会員)を予定。その他懇親会を佐藤栄次会員ギャラリーで実施。

3. 今後の予定

6月10日(土) 九州事業支部総会を九州造形短期大学で開催予定。(川上理事長出席予定)

同日、ミラノ・セミナー「ミラノ・サローネ：ミラノ国際家具見本市最新動向報告」を九州造形短期大学で実施、その後、懇親会を予定。

◆本部総務委員会(丸谷)

1. JID ビジネスパートナーズ、フォーマット、マニュアルなどの最終案の検討。

2. JID ビジネスパートナーズ第4回実行委員会開催。

2月21日に続き、第4回実行委員会を開催、第3回で協議した具体的使用フォーマット、運用マニュアルを協議、実行委員会で承認される。

今後正式に発足、最終参加賛助会員は15社で正会員への告知について早急に検討する。

実行委員会はJIDビジネスパートナーズ立ち上げ終了、参加者の賛成により引き続き協議会を発足させ諸問題対応の場として年数回会議を開催予定。協議会の骨格、代表幹事会社等は総務委員に一任となる。

3. IDカードの更新を終了

4. 第38回総会懇親会の進行準備等実施。

◆本部国際委員会(酒井)

1. 平成18年11月APSDA総会(マレーシア・クアラルンプール)への代表派遣を予定。

2. 平成19年秋IFI総会(韓国・釜山)への代表派遣準備。

3. 滞日留学生を対象としたセミナー及び交流会の企画運営。

4. 国際委員会主催の有料セミナー及びパーティの企画運営。

5. JID創立50周年記念事業に向けた国際的プログラムの企画運営準備。

6. 5月30日第1回国際委員会開催予定。

その他、本部国際委員会よりIFI、APSDA等の情報を各支部国際担当に流す。又JID国際関係活動等をJIDニュースに掲載、会員に情報伝達を行い参加意識の高揚に努める。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. Web掲載情報の拡大を検討。(デザイン関連情報ページなど)

2. ページデザインの全般修正案を検討。

今後の予定

1) 関東事業支部情報委員会との合同ミーティング実施。

2) 新年度における運営のあり方を模索、検討。

3) 各支部情報担当者とのコミュニケーションを図る。

4) 他委員会との情報交換の仕組み作りを検討。

◆本部情報委員会 JID News(清家)

JIDニュース掲載のため、新理事に原稿を依頼。

◆事業推進(小宮、岩倉、吉良、山本)

平成18年度事業計画の具体的推進

1. 事業推進システム遂行。

2. PPSスケジュール作成とWeb上の公開。

3. 長期事業(5カ年計画)の検討。

4. JID賞の全国巡回展の実施。

5. 創立50周年記念事業特別委員会のサポート。

6. 支部事業の全国展開を4支部統括と検討。

◆選考委員会(岩倉)

1. 3月31日 会員よりの創立50周年ロゴマーク審査、採用なしでグラフィックデザイナーに依頼。

2. 関連情報としてインテリアライフスタイル展について、17年度第4回理事会で報告了承済みの件。

＜※議事録の後に関連記事掲載＞

その他、IFFTの総合プロデューサーに高田公平氏(JID会員)が就任、委員に岩倉榮利。

[2] その他

1. 財務運営資金繰りについて事務局長より説明。

2. 次回平成18年度第2回理事会予定

平成18年8月4日(金)15:00~18:00

3. 創立50周年記念事業特別委員会委員長川上玲子、副委員長岩倉榮利、小宮容一を選任。

4. 議長より創立50周年ロゴマークについて制作経緯を説明提示、一部修正「2008・創立50周年」を加えることとした。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

Ⅱ 議題

◆第1号議案

任期満了に伴う役員改選の件

議長より平成18・19年度役員役職について説明。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案

後援・協賛名義承認の件(3件)

●SDA創立40周年記念シンポジウム

2006年4月28日(金)13:30~18:10

主催: 社団法人日本サインデザイン協会 後援・新規

●第1回グルメ&ダイニングスタイルショー2007

2007年4月4日(水)・5日(木)・6日(金)

主催: 株式会社ビジネスガイド社

協賛・新規

●第36回大阪インターナショナル・ギフト・ショー秋2006

平成18年9月27日(水)~29日(金)

主催: 株式会社ビジネスガイド社

協賛・継続

議長は承認を諮り異議なく承認された。

◆第3号議案

会員入退会承認の件(12件)

●正会員 入会(3件)

松田綾子(関東) 推薦人: 小野由記子、須藤玲子

野木村敦史(関東) 推薦人: 川上玲子

中野公力(関東) 推薦人: 島崎信、寺原芳彦

●賛助会員 入会(2件)

旭興株式会社 推薦人: 峰尾武(事務局)

株式会社ミダス 推薦人: 井出昭子

●正会員 退会(5件)

0779 今井壯一(関東) 1084 中田文二(関東)
1232 吉田崇(関東) 1144 植松嘩子(関西)
0399 安永一典(関西)

●賛助会員合併(1件)

株式会社川島織物インテリアと株式会社セルコンが4月1日付で合併のため1社減

新社名は株式会社川島織物セルコンとなりました。

●報告事項(計報)

松原文子(関東正会員)

平成18年5月24日逝去 享年68歳

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第4号議案

議事録署名人選任の件

議長は酒井正人、村口峯子両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成18年度第1回理事会に関し、定款第6条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

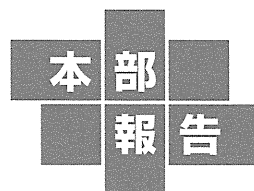
議事録署名人 酒井正人、村口峯子

※インテリアライフスタイル展2006について

(理事長 川上 玲子)

インテリアライフスタイル展2006(6月14日~16日・東京ビッグサイト)に於いて今年初めてAWARDSが設けられ、JIDに対しては「JID DESIGN AWARDS」の選考、表彰を私と岩倉副理事長が依頼されました。

JIDは時代を捉え、本物を志向する「デザイン」に焦点をしぼり、建築家と照明デザイナーによるダイナミックな「Parabola lighting」、岐阜県の陶磁器メーカーMIYAMAのパッケージとの組み合わせもセンス溢れる繊細で質の高い磁器、中国の若い女性によるユニークなデザインのカップシリーズ等3組を選びましたが、期せずして将来が楽しみな若いデザイナー達の作品でした。その他の賞として日本デザインコンサルタント協会の「JDCA DESIGN AWARDS」、モノ・マガジンの「mono magazine AWARDS」、デザインディレクター立川裕大氏による「INTERIOR LIFESTYLE AWARDS」があります。本展は総合プロデューサーJID会員高田公平氏の長年の努力が実って近年は大変好評で、海外からも人気を博しています。因に高田公平氏は今年度のIFFT(東京国際家具見本市)総合プロデューサーに就任。50周年を前にしてJID会員の活躍は喜ばしい限りです。



4支部統括

担当理事:

安藤 清・村口 峯子

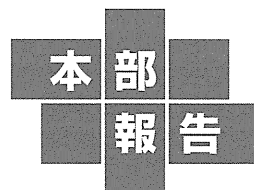
平成18年度活動指針

阪井前副理事長(4事業支部担当)の構築された三項目の実行年度とする。

1. 事業推進担当理事の年次計画に基づき各事業支部間及び本部事業との調整と円滑な運営を行い各支部長と連携の上、必要に応じ支部長会議を開催。
2. 各事業支部ACTの名称統一に伴ない次代の会員への共通事項の調整及び連携。
3. 創立50周年記念事業に関するフォーラムの各事業支部実施の推進の継続。

以上をベースにベテランの村口新理事と共に重責を務めさせていただきます。特にJID50周年の準備年度の支部間連携は各支部の方々の協力なくして進展しません、宜しくご協力お願いします。

(文責 安藤 清)



情報委員会

担当理事: 清家 淳一

委員長: 八十 常充

JID News に MEMBER'S SALON 新設

JID Newsは理事会報告、委員会、支部の活動報告など報告記事が多く、記録誌的な性格が強くて面白味が少ないなどと言われてきました。

そこで今回より会員相互のコミュニケーション・ページを設け会員情報の交流の場にしたいと思います。皆様からのご意見、デザイン情報、地域や海外での新発見やお薦めスポットやエッセイなどをお待ちしています。会員の皆さんで新しいJID Newsを盛り上げて下さい。



call for your message!

本部報告

国際委員会

担当理事：酒井 正人

委員長：小野 由記子

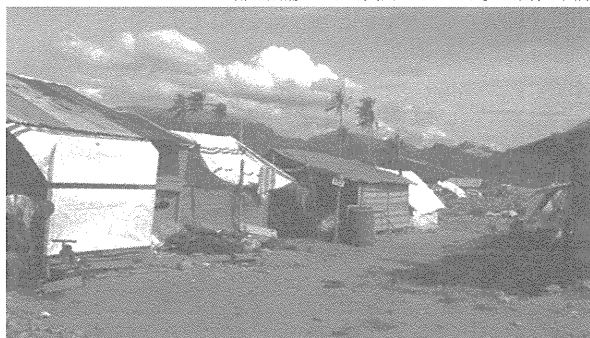
スマトラ沖津波義援金 報告

2005 年春に多くのJID会員より寄せられた「2004・スマトラ沖津波」への義援金は、総額¥165,000 でした。この義援金の使用報告をいたします。

この義援金は、2005 年 5 月に台湾で開催された APS DA 総会で、JID から APS DA 事務局 (CSID) に手渡ししました。その後、他の APS DA メンバー国からも次々と差し出されたものを加え、TUNAMI 基金となりました。用途は十分に検討された結果、この基金はインドネシアの NPO 法人 ASOSIASI TOILET INDONESIA に提供されました。この組織の活動目的は、次の通りです。

- 津波によって著しく非衛生になっている地域でトイレの建て方や適切な建材の使用法、汚染から身を守るためにトイレを衛生的に保つ方法などを一般の人々に教える。
- 人々に地域の天候や習慣に適合する、特にトロピカルエリアに豊富にある自然光を取り入れたトイレデザインの情報を提供する。
- 安全で衛生的な環境を作りあげるためにも清潔なトイレを維持してゆく事が、いかに大切かという人々の認識を高めてゆく。

衛生設備はいまだ貧困 きれいな水の確保が困難



公衆トイレの奨励案 フラットルーフ、レンガ壁、タイル 床貯水タンク完備とある



Perspektif Toilet

APSDA の基金は次の事に使われています。

1. 公衆トイレの建設労働者への賃金
2. 公衆トイレの建設資材の購入

特に大きな被害を受けたアケでは 131,000 人が死亡、37,000 人が行方不明、550,000 人が家を失いました。また人口の 70% が女性です。ASOSIASI TOILET INDONESIA では、女性がより良く生きるための新しいスキルの指導などもしています。

この 5 月 27 日には再びインドネシアのジャワ島で地震災害が発生しました。このような予測不可能な災害は私たちにとっても大変に身近な心配事です。

我われの義援金が大切に使われた報告を受け取り、このような小さな行為と現地の人びとの暮らしがつながる不思議を感じることができました。ご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。

本部国際委員会 委員募集

今後、国際委員会の活動は、ますます活性化、多様化いたします。

海外の協会、団体とのやりとりや国際会議への代表派遣など、海外との案件ばかりでなく国内においても留学生へのワークショップ、異業種組織との交流会、ゲストを招いてのセミナー、パーティーなど企画は盛りだくさんです。

また JID 創立 50 周年時の国際プログラムなどの準備もこれから進めてまいります。国際委員会は開かれた会であることを目指しています。支部を問わず皆様のご参加をお待ちしております。

本部報告

総務委員会

担当理事：丸谷 芳正

委員長：伊藤 公一

第38回通常総会・懇親会 報告

総務委員 安竹 麻智

第 38 回通常総会平成 18 年 5 月 26 日 (金曜日) 午後 3 時 30 分より、東京・西新宿、新宿パークタワー・リビングデザインセンター、セミナールーム B にて開催されました。総会開催に先立ち、川上玲子理事長から挨拶があり、2 年後に迎える JID 創立 50 周年に向けて本年は準備

期間であり、実行委員会を立ち上げ開催テーマや実施企画等を行いたいとの表明がありました。(以下要旨)

JID創立 50 周年記念事業は全会員及び賛助会員の協力があって初めて実行できるものであり、今後ぜひとも会員各位のご協力をお願いしたい。

50 年前、日本人がデザインに目覚めた頃の原点に戻って全会員がデザインについて考えていくものにしたという決意表明とともに、本年 11 月リビングデザインセンター OZON 全館を借り切って開催を予定している「大・テーブル／卓」展は、2008 年に 50 周年を迎えるイベントとして位置づけており、JID 創立 50 周年記念事業に繋げるものとしたい。

前年度から「ビエンナーレ」になった JID 賞は、若い世代の応募者が多かったのが特徴で、今後の JID 賞の発展に期待したい。

IFJ の会議が 2007 年に韓国で開催され、理事長として出席。2010 年上海では IFI 総会が行われるが、同年上海で万博の開催も予定され、さまざまな意味で日本・JID が期待されている。(以上)

その後総会に於いて、議案の審議に入り決算・予算とも全員賛成で滞りなく承認されました。



岩倉副理事長



川上理事長



川島館長



杉山会長

通常総会終了後、午後 6 時 30 分より「グリーンズ・カフェ」で懇親会が開催されました。川上理事長の挨拶の後、来賓代表として有限責任中間法人日本インテリアプランナー協会、杉山宗英会長のご挨拶に続き、(株)リビング・デザインセンター OZON 川島晴夫館長の乾杯によって、懇親の和やかな宴が始まりました。

宴の途中、新入賛助会員の紹介などを交えて、楽しく有意義な懇親会は、岩倉榮利副理事長の中締めを持って盛会に幕を閉じました。

本部総務委員会 18 年度活動指針

総務委員会 委員長 伊藤 公一

本部総務委員会は 18 年度、JID ビジネスパートナーズ発足後のフォローと広報活動、デザイン保護についての調査研究をメインとして委員会運営を行う予定です。委員会は原則毎月一回開催、オープン委員会にしておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。

JID ビジネスパートナーズ 4 月より 15 社参加にて発足!

表題の JID ビジネスパートナーズにつきましては、一昨年より JID ニュースにて経過報告をさせていただいておりましたが、昨年 11 月より 4 回の合同実行委員会を経て、本年度 4 月より正式発足の運びとなりました。

会員の皆様にご案内する資料は現在準備中ですが、近々全正会員に郵送の予定です。既にフォーマットなどの準備もできておりますので、ご利用されたい会員の方は、早急に詳細を事務局にお尋ねください。

<JID ビジネスパートナーズ 参加賛助会員リスト>

- 1.(株)アイデック
- 2.(株)アダル
- 3.(有)エーディーコア・デバイス
4. カリモク家具販売(株)
- 5.(株)カシワリビング
- 6.(株)コスガ
7. サイレントグリス(株)
8. 川島織物インテリア
- 9.(株)サンゲツ
- 10.(株)トミタ
11. 丸光商店
- 12.(株)フジエテキスタイル
- 13.(株)リッツウェル
- 14.(株)ワークプレイスソリューションズ
15. ナショナル物産(株)

JID の福利厚生 — ベネフィット・ワン入会のお誘い

総務委員 道明 三千代

もうすぐ夏休みシーズンを迎えます。JID の福利厚生としてはまだ認知度が低いようですが、すごく有利な制度をご案内します。今年 10 周年を迎えたベネフィット・ワンは、JID 会員であれば年会費 ¥12,000 (ゴールドコース会員) でレジャー、エンターテイメントから宿泊、格安航空券など、会費以上のメリットがいっぱいです。

例えば総務委員会では、八ヶ岳の麓にある小淵沢リゾート(マリオ・ベリーニ設計)を利用して、委員会を兼ねた勉強と温泉を楽しむ 1 泊 2 日の旅を、なんと 1 人 ¥5,500 (朝食付き) で満喫しました。その他、ディズニーリゾートの割引や海外のホテル予約も可能な上、各種保険やスポーツクラブ、エステ施設まであります。

ご興味がありましたら、情報いっぱいのガイドブックが事務局にありますので、ぜひ覗いてみてください。

ご入会は事務局で受付けていますので、各支部の皆さんにも「JID 会員でなければ利用できない大きなメリット」をぜひ有効活用していただきたいと思います。

MEMBER'S SALON

JIDNewsを彩る会員情報の交流サロンです。メッセージやレポートあるいはエッセイなど、自由で楽しい会員の声をお寄せください。(原則として1,000字以内+写真1〜3枚程度)

大連の家具展を視る

高瀬 守博 関西事業支部

5月28日から4日間、大連の世界博覧広場と星海会展センターで開催された「第11回中国国際家具(輸出)及び木工機械展覧会」を、(商品化と品質管理の指導をしている家具メーカーの展示プラン設営チェックも兼ねて)前日の27日とオープニングの28日に視察しました。この催事は1996年の初回開催以来10年を経て、‘中国三大家具展の一つ’に成長、中国北方唯一の国家級家具展となっています。‘出展社品質の高さ、展示場の大きさ、国際化程度の濃さ’その三つがこの展覧会の特徴で、以下大連の家具産業事情です。

1. 大連の立地

大連市は中国東北遼東半島の最南端にあり、東は黄海、西は渤海、中国北方最大の国際貿易港口で、既に世界160ヵ国と地域、300ヵ港と経済貿易輸送往来の関係があります。中国東北地区の橋頭堡で、東北アジアのデリバリーハブと言われています。

2. 大連の家具産業

木製家具(特に無垢材加工とキャビネット製品)メーカーが多く、規模も大きい。現在、全東北地区では既に84の木工企業があり、全国の主なる木工企業の62%を占めています。

3. 産業資源

統計によると、東北林木貯蔵量が中国高品質林木の60〜70%を占め、総林地面積が5.5億m²、森林貯蔵量が33億m³で、全国の23%、27%をそれぞれ占めていて、中国では面積最大、資源配布最集中の重点林区です。また、毎年中国東北の綏芬江、満州里の二つの港からロシアの木材、林木半製品が中国東北に入った木材が700万m³もあり、全中国輸入木材の50%を占めています。

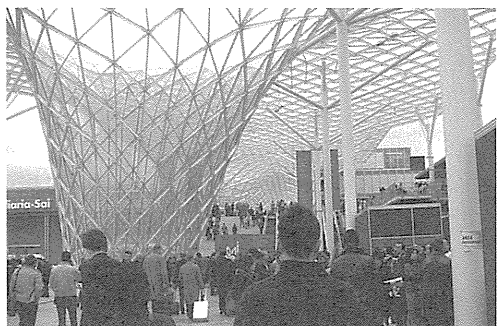


4. 発展政策

「東北アジア国際デリバリーセンター」を目指し都市建設途上で、今が大連にとって歴史的なビジネスチャンスです。海外で工場とオフィスの創設を目論む企業—日本のTOSHIBA、CANON、アメリカのDELL、フィンランドのNOKIAなどが大連を選びました。現在、大連には外資及び合弁会社が1万近くあります。大連市政府が既に家具を重点支持産業とし、家具企業に技術改革資金と開拓資金を投入して支えます。「大連家具及び板材産業パークの建設についての提案」が2006年大連市の重点提案に選ばれ、大連家具産業チェーンの統合と相まって大連家具業界の発展を加速しています。

他に、「アカシア祭り」、「国際ファッションフェスティバル」、「輸出商品交易会」、「国際マラソン大会」、「中国国際建築装飾材料(用品)展覧会」、「東アジア国際観光博覧会」などの展示会があります。

これから大連は1年で一番フレッシュな6月を迎えます。会場である星海広場の高層ビル群、中山広場の大和賓館などを紹介します。



かけあし「ミラノサローネ」

中島 健視 中部事業支部



ミラノへは20年近く前に、ベネチアからスイスのジュネーブへ行く途中で1日だけ立ち寄り、街の中心部モンテナポレオーネ通付近のインテリアショップを何軒か見学した記憶がありますが、海外の展示会は見る機会がなく、今回が初めての経験になります。

あまりにも有名になった「ミラノサローネ」です、シーズンになると主だった日本のインテリア関連の雑誌は特集を組んで大きくその年の動向を報じています。今年は4月5日～10日まで開催されました、公式発表では、入場者数22万人でその内、海外からの入場者は10万人、どちらも昨年に比べて15～22%増だそうです、そのサローネも今年からマッシミリアーノ・フクサス設計の展示場に移りました、スチールとガラスの有機的で美しいルーフが長さ1.3キロメートルにわたって建てられた8つのパビリオンを、すっぽり覆った特徴的な展示会場です。展示会場の概略の構成はクラシック、デザイン、モダン、フュージョンなどのテーマ別に分けられたミラノ国際家具見本市とユーロクッチーナ、エイミュ(オフィス)が共催されていました。3日間会場に通いましたが広大すぎてとても全部を見切れるものではありません。

また会期中はミラノ市内のいたるところでイベント開催されています。まさしく世界最大のデザインイベントです。久々のイタリアでしたがこの国のデザインに対する情熱と興行きの深さを再認識させられた4日間でした。

※JID News 231号編集後記で雑誌「室内」廃刊に関連して皆様のご意見を所望致しましたところ、早速森谷さんから反応を頂きました。

「室内」山本編集長に宛てた森谷さんの意想の一端を述べられたものです。ご紹介いたします。(編集室)

雑誌『室内』廃刊に思う

森谷 延周 関東事業支部

山本伊吾様 私は「木工界」時代から数えて50数年の読者の1人です。もちろん手元にはバックナンバーがすべて揃っています。

このたびの「室内」最終特別号を手にして、非常に大きなショックを受けました。

休刊へのご事情はわかり兼ねますが、デザイナーとして「室内」とともに歩んできただけに、自分の仕事もこれで終わりかといった心境です。(だからといって、やめるわけにはいきませんが)

思い返すと…………。

1. 手元にある「木工界」昭和32年1月1日発行 No.25 特集「デザイナー9人集」が、私がこの仕事につくことを決定させたかと思います。
2. そして「室内」(木工界改題)昭和37年9月1日発行 No.93 P.99～104「新人登場」に豊口克平さんが私を紹介してくれたことは、たいへん感激でした。
3. さらに「室内」昭和52年9月1日発行 No.273 P.115～121「写真に見る家具百年史」に伯父、父とともに取り上げていただいたことも忘れることができません。
4. 以後、「作品紹介」「ミニレター」「著作紹介」などの掲載後の反響から、さすが「室内」と思いました。

ご苦勞をお察しするとともに、これまでお世話になったことに対してお礼申し上げます。

まさに「継続は力なり」を実行した日本で唯一のインテリア誌。「一旦休刊」を経て「再刊」の日を待ちたいと思います。ありがとうございました。(平成18年3月3日)

関東事業支部18年度支部事業について

関東事業支部 支部長 佐藤 健一

支部総会もつつがなく終わり、新年度に入り関東事業支部では各委員会が、それぞれ活発に始動していますので、ここにご紹介させていただきます。

研究委員会では理事会でも承認され、JID50周年プレ事業としての「大・テーブル／卓」展が本年11月新宿オゾンにて1ヶ月ほどの長期に渡り開催される運びとなりました。研究委員長の長岡貞夫会員はじめ十数人におよぶメンバーが尽力され、大規模な展覧会を実現して、社会的にも十分に注目されるものと期待されます。

事業委員会では昨年惜しくも他界された下島資子さんのご努力により開催された一般ユーザー向けの「きらりと光るリフォームセミナー」が共催のオゾンから好評の評価をいただき、今年度も萩原多恵子委員長をリーダーに7月から計6回開催されることになりました。

他方、事業委員会のもうひとつの柱である「市町村支援事業」では結城紬で有名な結城市の第三セクターである「TMO結城」の総会にオブザーバー出席し、その後の懇親会で中心市街地電柱地中化のイメージパースを依頼され、中心市街地活性化のための第一歩を踏み出しており、今後のつながりが期待されます。



情報委員会では新しく関東事業支部ホームページを刷新し、より社会とつながりが深くなるような内容を検討中であり、同時に支部会員でホームページを持っていない会員のために作品及び経歴が載せられるミニミニホームページを設定し、内容の充実を進めていきたいと考えています。

交流委員会では一昨年の「江戸切り子」、昨年の「アルミ鋳物」に引き続いて本年度では「ガラス鋳物」の手

作り体験企画と、その作品の展示会を実現すべく予算、場所その他を検討しています。また、ここ数年中断していた「デザイン職人四方山話」を復活する議題が出ており、人選その他が企画中となっています。

総務委員会では支部委員会活動のための各種ガイドラインを作成中ですが今年度中には、それらをまとめてファイルに完成させたいと考えています。

また、JID パートナース関東では昨年に引き続き「インテリアトレンドセミナー」を数回企画中となっています。

同時に本部のJID ビジネスパートナーズとも連携し、少しでも多くの賛助企業の積極的参加を押し進めて行きたいと考えています。

最後にJID-ACTkantoでは昨年に引き続き、国際家具見本市の出展を企画していますが、昨年のように参加作品10点程度では、本当に意味があるかどうか、JID-ACTkantoの運営も含めて再検討されることになっています。

以上、簡単に各委員会の活動状況をご紹介いたしましたが、他支部との連携その他ご意見ございましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

九州事業支部2006活動予定

九州事業支部 支部長 飯田 一博

今年度の役員が決まり、来期へ向けて新しくスタートしました。役員会は特別事業委員の佐藤さんの新しいNewギャラリー兼事務所に押しかけて開催しました。

古い平屋を改造して、北欧家具(ウエグナーを中心に)が展示されていました。天井を取り払い、屋根を耐熱シートで覆い、床暖房という新しい試みで足元がほんのりと温かい、ほんとうに気持ちの良いものでした。



外観です

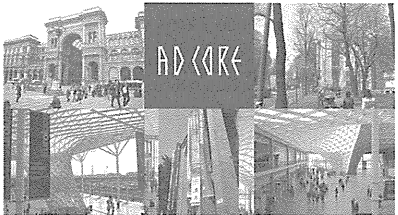
ギャラリーから事務所を望む



新年度の九州支部活動について、大いに議論、まずは、総会について。3月の役員会で山永九州担当理事から提案されていました「ミラノセミナー」を一緒に開催できないか?・・・の検討。現実的には、6月10日(土)に「第45回ミラノ・サローネ2006最新動向報告会」講師にはJID 関東支部会員でもあるエーディコア・デバイズ取締役であり、デザイナーでもある瀬戸昇氏、開催場所は瀬戸氏の母校でもあり、山永理事の勤める九州産業大学芸術学部決定しました。レセプション会場は芸術学部美術館廊下ギャラリーで、そのあとはゆっくり、海の中道ホテルで懇親会という予定になりました。瀬戸氏の20年以上のサローネ通い、デザイナーの見る、プロならではの現地のレポートは会員だけではなく、賛助会員、ACT会員、学生にとっても、非常に興味のあるセミナーになると楽しみにしています。

『第45回ミラノ・サローネ2006最新動向報告会』

AD CORE DEVISE INC.



■ 会場：九州産業大学芸術学部15号館2F：15201教室
 ■ 期日：平成18年6月10日(土)
 ■ 時間：ミラノ・サローネ報告会 16:00~17:30
 レセプション 芸術学部：美術館3F廊下ギャラリー 17:40~19:00

6/10
SAT

講師：エーディコア・デバイズ 代表取締役 瀬戸 昇 氏

AD CORE DEVISE
 〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-1
 tel:03-5778-3341 fax:03-5778-3342
 www.adcore.jp

JID
 JAPAN INTERIOR DESIGNER ASSOCIATION KY
 日本インテリアデザイナー協会 九州支部

セミナーポスター

又、本部からは川上玲子理事長もご参加いただきます。九州事業支部がJIDの50周年事業にどう参加できるか?という事も大事な事業の一つです。総会の大きな議題として素晴らしいアイデアがでると期待しています。

九州事業支部では昨年度「第一回の学生ファニチャーデザインコンテスト」を開催しました。九州の賛助会員である(株)アダル、(株)リッツエル、(株)サカイ、(株)添嶋勲商店の4社より審査員が参加され、支部会員と一緒に審査に協力をして戴きました。九州の賛助会員が揃ったのは初めてのことであり、こういう交流もあると思いました。又、学生の作品も面白いものが多数あり、こういったことがACTを育てて行く上でも必要だと痛感しました。ぜひ、第二回、第三回…と続けていくことが大事ですので、今期の事業として「第二回学生ファニチャーデザインコンペ2007」を開催していこうということになりました。次回はもう少し多くの大学、短期大学、専門学校などに声を掛けたいと思っています。実物だけではなくデザイン(計画)だけでも参加できないか?「テーマ」を決めたほうが良いのでは?今までの九州の会員展も一緒に開催したらどうか?新作だけでなく

でも良い。元会員や賛助会員の作品も加えて「九州インテリアデザインワーク展」と広げてはどうか…と夢が広がっています。どこまでできるかは分かりませんが、少しずつ前向きに取り組んで行きたいと思っています。

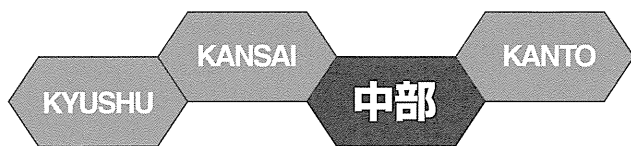
6月10日に総会を開催しました。本部より川上玲子理事長をお招きしてJID 50周年記念事業にむけての有意義な時間を過ごすことができました。本部と各支部をインターネットで繋いで会議をしたらどうですか?といった意見など時間が足らずにうまくはまとまりませんでしたが、支部として2008年に向かって、今年はプレイベントの企画など検討していこうという事になりました。理事長の言葉で説明を聞き、会員の50周年記念事業への意識は高まってきたように思います。

続いて、ミラノセミナー1時間半の予定時間では収まらないほどのイタリアの家具見本市の会場や家具の写真と講師瀬戸氏(エーディコア・デバイズ取締役)の熱心な話に、皆、時の経つのを忘れるほど聞き入っていました。報告会は今年で4回目、東京では表参道ヒルズで700名を越える参加者。その他大阪、名古屋などでも開催されるそうです。福岡では初めて報告会の話が3月にあり、4・5・6月と計画、期間が短かったのですが学生を含めて多くの参加がありました。

レセプションではエーディコア・デバイズの新作家具13点の展示されている中で会員や一般の参加者と学生も含めての交流が行われました。



最後は会場近くの海の中道ホテルのラウンジで懇親会を行いました。川上理事長を囲んで会員、賛助会員、エーディコア・デバイズの社員も含めての「お疲れ!」「来年も是非、報告会を九州でやりましょう!」瀬戸氏からのイタリアのお土産のシャンペンを開けてみんなで乾杯!ワイワイ、ガヤガヤと交流が続きました。



JIDNEWSCHUBU

中部事業支部活動報告

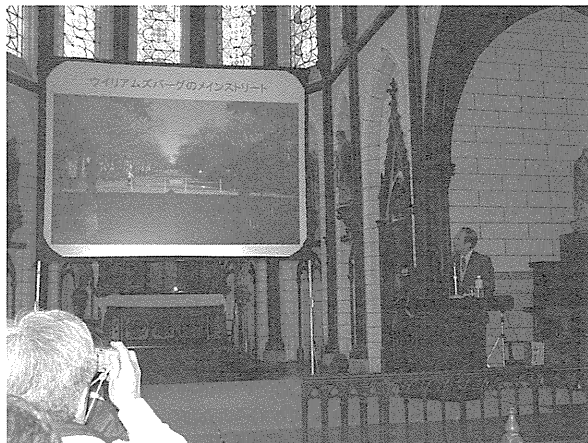
中部事業支部 小林 修

中部インテリアデザイン連絡会の動き<その1> 明治村の特別イベント

平成 17 年に発足した連絡会も会合を重ねる中で、5 団体の活動状況を互いに報告確認する作業に入り、具体的な行動を模索する過程で情報の共有を図る好例が 3 月に生まれました。

インテリア学会員からの一通のメールが、JID 中部にとっても大変お世話になった明治村の西尾氏が定年を迎えられる事を知るきっかけとなり、西尾氏の企画された明治村の特別イベント／シンポジウム「市民に親しまれる野外博物館をめざして」に安藤理事、小宮支部長以下数名で参加し、各先生の興味あるお話と西尾氏の記念となる講演を聞き、JID 中部として祝辞と御礼を述べさせて頂く機会が持てたことは、この連絡会の果たす役割の一部であったと思われます。

この講演にはインテリアプランナー協会／インテリア学会からの会員の他にも建築士会からも多数出席者が一般の見学者も含め 150 名程の聴衆でした。



撮影／名工大 河田克博氏

因にこのシンポジウムのメニューを抜粋します。

場所：博物館明治村内 聖ザビエル天主堂

講演内容

1. 基調講演

東京大学大学院教授 鈴木博之先生

「建築の遺伝子」「建築文化を正しく引き継ぐために」
楽しみと知識の拡大のなかに野外博物館の未来が

ある。

2. 海外報告

博物館明治村建造物担当部長 西尾雅俊氏

●アメリカ「コロニアル ウィリアムズバーグの姿」

(ヨーロッパ人が 400 年前に入植し、独立戦争の基点となった町の保存、伝承)

●スウェーデン「スカンセン ナショナルミュージアムの姿」

(1891 年に開設された世界最古の野外博物館、スウェーデンの誇り)

3. 事例報告

四国民家博物館 加藤秀樹氏

重要文化財旧日本郵船小樽支店 研究員 北川佳枝氏

4. 座談会

中部インテリアデザイン連絡会の動き<その2> 連絡会5団体との共同展企画

JID 賞全国巡回展と併せてインテリア各協会合同のアワード共催展を実施すべく、国際デザインセンター及び CCDO に働きかけをし内諾を得て、今後詳細の詰めに入ります。

JID-ACT chubu メンバーと

中部事業支部北陸部会会員との交流企画

事業支部総会を金沢で開催するにあたり、ACT のメンバーに金沢での交流会企画と美術・博物館見学セミナーを伝えたところ多数の応募があり、この機会において北陸部会の方々に ACT のメンバーを紹介すると共に若いエネルギーを肌で感じて頂き、北陸部会の活動を含めより中部を活性化させる一助になればと企画、6 月に実施される予定です。

更に、中部「物づくり探訪」—陶磁器の可能性を求めて—企画の一環として「九谷焼の歴史と今を訪ねて」
「九谷焼陶芸館」では、絵付／作陶体験／陶芸村見学を行います。

特別企画として以下の計画があります。

「中谷宇吉郎／雪の科学館」(建築設計／磯崎新)の見学。

「金沢 21 世紀美術館」(設計／妹島和世＋SANAA)にて学芸員との交流と見学。

(この「21 世紀美術館」企画は元理事／関繪里子先生に御尽力頂きました。)

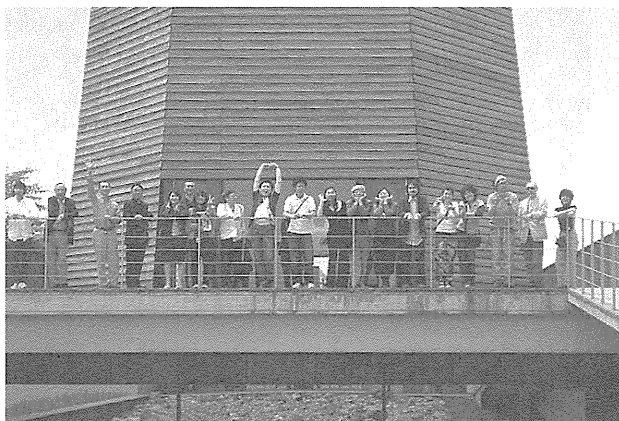
平成18年度 中部事業支部通常総会 開催報告

中部事業支部 総務委員長 木辺 智子

去る6月3日(土)18:30～石川県金沢市長町1-22 味処「高崎」にて平成18年度通常総会が開催されました。中部事業支部は中部地区と北陸地区と地域に隔たりがありなかなか事業を共有できない問題を抱えておりますが、総会は毎年持ち回りで各県を廻り、開催いたしております。今年は石川県ということで県内の会員が関里絵子元理事1名で、福井の出水裕子さんの協力も得て大変アクティブでクリエイティブな企画を立てていただきました。

また名古屋からは会員10名参加の上、ものづくり探訪企画でJID-ACTchubuの若者が10名参加し、大変にぎやかで楽しい会になったと思います。総会では真剣な審議が行われ、決算報告や予算など理解しにくいなど問題点が出されました。

書式の改善を検討していく方向でまとまりました。今年度はJID-ACTchubuとの連携で「ものづくり探訪」企画を推進し、交流・研修・情報の事業活動を活発にしていけることを確認し、総会を無事終了いたしました。



中部は会員数が少なくそのわりには事業が活発に進められていると思いますが、委員会単位で独立した企画が出来にくく役員総出で事業にあたっているという印象があります。なかには不満の声もあるようなので今後いろいろと討議していきたいと思っています。また「JIDのメリットとは？」などという議論も少なからずあるようです。参加しないとなかなかメリットを感じられないのも当然のように感じますし、地域的な要素も多くあると思います。離れていても仲間であるという意識で良い企画をみなで出し合って、やっていきたいと思っています。いろいろと意見を下さる熱い会員が多く今後もっと頑張っていたらと声もありました。36人程度の小さな集まりですが小さいだけに団結してもっと良い協会にしていきたいですね。

「ものづくり探訪企画・第2弾」 —金沢—

「ものづくり探訪—陶磁器の可能性とインテリアデザイン」という企画で今回が第2弾。

始まりは、加賀市にある磯崎新設計の「中谷宇吉郎の雪の科学館」見学。

「雪は天から送られた手紙である」という言葉に一同感動し、10年以上経ったこの建築と環境との調和に驚き、現実に見ることの出来る雪の結晶の美しさに自然の素晴らしさを再確認した美術館でした。

次に向かったのは能美市「久谷焼陶芸館」。途中おいしいと評判のおそばをいただき、満腹で九谷焼の絵付け体験。JID-ACTchubuの学生も会員も真剣にデザインを考え、思い思いの陶器に描いていく、悪戦苦闘の末、何とか皆さん完成! 2～3週間で届くと言う焼き上がりを楽しみに久谷焼陶芸館を後にしました。

総会をやっと終了し、いよいよ懇親会! 百万石の城下町。加賀料理をACTのメンバーと共に大変陽気な大宴会で老いも若きも楽しみました。



次の日は妹尾和世+西沢立衛の金沢21世紀美術館を見学。学芸員の方の美術館立ち上げまでの建築家とのスリリングなやりとりの楽しい話や美術館への熱い想いを聞き、金沢市民に愛されている美術館を体験し、現代美術に?しながら見て廻りました。

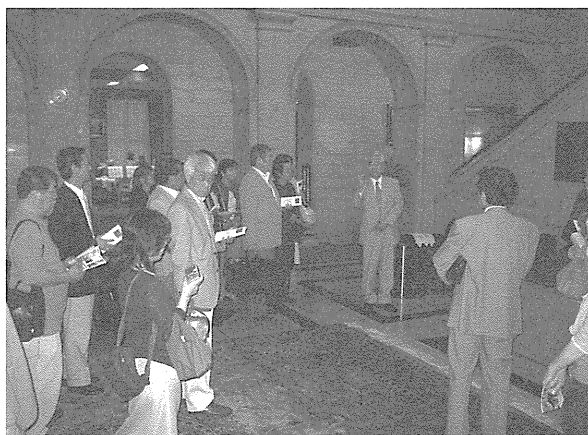
昼食は老舗の加賀料理をいただき大満足。しばし自由に金沢の街並みを散策し今回の金沢訪問を終えました。関里絵子先生には感謝感謝の楽しい企画でした。

追記：私の卒業した小学校は前田利家の生まれた荒子にある荒子小学校で前田家家紋は小学校の校章でした。前田利家のことは小さいときから言い聞かされて育ってまいりましたので、非常に親しみを感じられる加賀百万石城下町でした。

関西事業支部総会報告

関西事業支部 監事 八十 常充

6月3日(土)、18年度の支部総会を商都大阪の中心地本町に昭和6年(1931年)に竣工した綿業会館で行いました。定刻2時45分から始まり、第1号議案から第5号議案まで審議され承認された事を報告致します。引き続いて、綿業会館(重要文化財)を見学しました。設計は渡辺節氏が、ヘッドドラフトマンには村野藤吾氏が参画した大変重厚な建物です。どの部屋にも彫刻や貴重な材料がふんだんに使われて、落ち着きのある古き良き時代に接する事の出来た貴重な体験でした。3部の交流会は螺旋階段を下りた地階のグリルで行いUSD-O(大阪デザイン団体連合機構)をはじめ他団体の代表者も加わって22名の参加者で盛り上がり盛況の内に開きとなりました。



木谷さんのワーク集「あかりの器」

木谷賢治さんが、照明デザインとの30数年の関わりをWORKS「あかりの器」にまとめられ、その出版披露パーティが3月31日、ホテル日航で盛大に行われました。

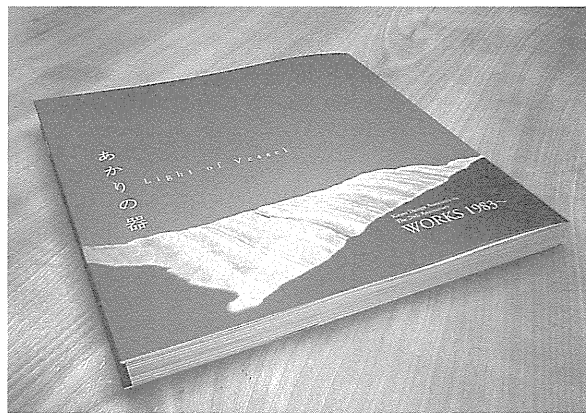
ワーク集「あかりの器」を出版して 木谷 賢治

古き良き日本家屋の風景、そこに洩れるあかりには、街角を照らす照明としてのあたたかな優しさと同時にその中に集う人々の心通う息づかいを感じる。

照明業界に関わって36年、そして独立後23年…この度、記録としてワーク集「あかりの器」を出版いたしました。

「あかり」と云う空間を器具と光の演出によって、完成に向かうことの楽しさと喜びをご協力頂いた多くの支えて下さった方々へ感謝の願いを込めた“器”をお届け出来ればと思い本に致しました。

出版後、各界の方々からの勧めや世話人が組織されて、3月31日、ホテル日航で130名余の関係の方々にお集まり頂き、意義深い楽しい出版パーティを行いました。人生の節目として、更なる精進を重ねたいと思います。関係の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。



JID-ACT kansai 第6回総会

JID-ACT kansai 広報部 部長 山下 真美子

さる5月13日(土)大阪産業創造館に於いてJID-ACT kansaiの総会を行いました。JID 関西事業支部から支部長以下5名のご出席とACT会員により17年度決算報告と各部署からの活動報告及び新役員の選出を行い、それぞれ承認されました。引き続いてその場で簡単な交流会を行って閉会といたしました。

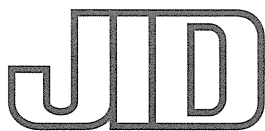
昨年は役員が大幅に入れ替わり、十分な活動が出来ず会を維持する事で精一杯でした。又、会員の整理を行い会員数が減少しましたが、少数だからこそ皆が活動に関わる柔軟性に富んだJID-ACT kansaiを目指したいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。新役員は下記の通りです。

会長：青木 円香

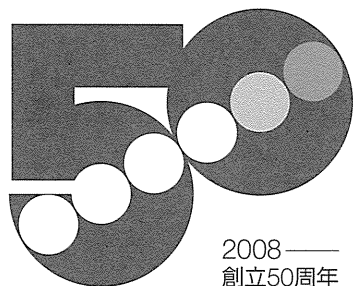
副会長：藤木 宏子、和泉 智香子

総務部長：鹿野 雅世 会計部長：森 未佳

企画部長：西村 沙和 広報部長：山下 真美子



社団法人 日本インテリアデザイナー協会



2008年JIDは創立50周年を迎えます。そこで協会では内外に周知するためロゴマークを制定いたしました。

グラフィックデザイナー(JAGDA会員)入江健介氏のご協力で出来上がったこのロゴマークは、50に重なった6個の丸の下から5つ目(赤)が50周年を意味し、6個目(緑)が51年目からの未来に対する発展を意味します。(配色は表紙参照)今後あらゆるところで有効に使用してまいります。

新会員 紹介 正会員

- ①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①松田 綾子
まつだ あやこ

- ②1262(関東事業支部)
③小野 由記子・須藤 玲子

④株式会社スパイス

〒153-0052 東京都目黒区祐天寺2-5-4
ブリッチハイツ108
Tel:03-3794-2859/Fax:03-3794-2849



①野木村 敦史
のぎむら あつし

- ②1263(関東事業支部)
③川上 玲子

④ノギムラカンパニー

〒420-0036 静岡県静岡市西島217-7
Tel:054-237-5662/Fax:054-237-5662



①中野 公力
なかの まさかつ

- ②1264(関東事業支部)
③島崎 信・寺原 芳彦(2名とも予定)

④フリーランス

〒229-0038 神奈川県相模原市星が丘2-14-14
Tel:042-752-3043/Fax:042-752-3042

新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数60社(平成18年6月現在)

旭興株式会社

会員番号3187

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11

産報佐久間ビル2F

Tel:03-3255-9101

担当者:東京営業所 主任 北野 裕之

推薦者:峰尾 武

株式会社ミダス

会員番号3188

〒104-0045 東京都中央区築地3-9-9

ランディック永井ビル

Tel:03-3524-4141/Fax:03-3524-4151

担当者:執行役員 PM部担当 岩瀬 雅路

推薦者:井出 昭子

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。

夏期休暇のお知らせ

本部事務局は8月12日(土)~8月20日(日)まで夏期休暇のため閉局いたします。ご不便をお掛けいたしますが、よろしくお願い致します。

本部事務局 峰尾 武

リビングデザインセンター OZONEの夏期休館は、8月14日(月)~8月18日(金)です。

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事	清家淳一
JID News 委員長	八十常充
// 委員	山崎晶
// 関東事業支部	佐藤健一
// 中部事業支部	小林修
// 関西事業支部	塚口眞佐子
// 九州事業支部	下田隆

——あとかき——

JID ニュースを関西が担当して2年が過ぎました。関西でのデザイン関係の広報媒体では定評のある西尾直事務所に編集デザインをお願いしたことで誌面にメリハリが出来ました。視覚エレメントを効果的に組み込んだ文章の括りやフォントの選択など、読みやすく親しみが持てるようになったとの声が聞こえる様になりました。

前号の「あとかき」に山崎晶さんがインテリア誌「室内」の廃刊、誠に残念！ JID としてヒトコトあってほしかった…ぜひご意見をお寄せ下さい。と、コメントされたところ、早速会員の森谷延周さんからご意見が寄せられました。新設の SALON 欄に掲載致しましたのでご覧下さい。編集委員会ではかねがね議論を重ね JID ニュースを少しずつ会員の声やインテリアに関わる情報などを取り上げて楽しく読める誌面作りに取り組みたいと話合っています。ご支援のほど宜しくお願い致します。

八十常充

No.232

発行日：平成18年6月30日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所